

結婚12周年の記念日祝う

須坂で「絹婚式」

ハート形の影ができた「恋人の聖地」のモニュメントで記念撮影する参加夫婦



須坂市観光協会は23日、「絹婚式」と呼ばれる結婚12周年の記念日を祝うイベントを、「恋人の聖地」とされている同市野辺の須坂アートパークで初めて開いた。かつて製糸業で栄えた同市の歴史にちなんだ企画。2001年に結婚した県内外の夫婦や家族12組が、ハート形の影ができるモニュメントの前で記念撮影した。

イベントは「絹の里・須坂で『絹婚式』と題し、夫婦は相手に向けたメッセージカードを持ち寄った。「長い人生うまく手のひらで転がしてください」「これからもうれしいことやつらいこと一緒に分かち合おう」などと相手に向かって読み上げ、カードを交換した。

県内外の12組 記念撮影

同パークにあるモニュメントは、本を開いた形をした台座の上にリングがあり、リングの影がハート形に映る。秋分と春分の日の正午に最も美しいハート形が映るようになっており、秋分の日のこの日を選んだ。

長野市豊野町のパート清水由美さん(43)は、会社員の夫・良明さん(48)と参加した。9月23日が結婚記念日だといい、「照れたけれど、結婚式を挙げていない分、いい記念になった」と話した。

同パークはプロポーズやデートに適した「恋人の聖地」として静岡市のNPO法人が認定している。同観光協会は「絹婚式を同パークなじみの催しにしたい」と来年以降の開催を検討している。